

三菱パイプ用ファン
居室・トイレ・洗面所用

形名	グリル形状	電源仕様	24時間換気機能	スイッチ
V-08PBLD7	角形格子グリル	速結端子	24時間換気機能付	電源スイッチ付

形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。
- なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能が確保できません)
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

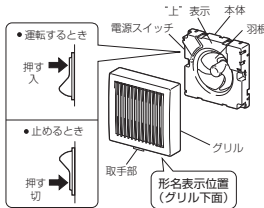
本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		接触禁止		指示に従う
--	----	--	-------	--	------	--	------	--	-------

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	禁止 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入切をしない 爆発・引火の原因。		禁止 ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因。 ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない 火災の原因。
	水ぬれ禁止 ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。 ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる工事店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。		接触禁止 ●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。 ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
	分解禁止 ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。		指示に従う ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●お手入れの後の部品の据付けは確実に 落下によりけがの原因。 ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
	指示に従う ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 (異常・故障例) 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。		

2.各部のなまえ



3.ご使用にあたってのお願い

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(中性洗剤をご使用ください)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
(異常音の発生、変質、変色や故障の原因)
- パイプファンの据付けは、販売店・専門の工事店が実施しております。据付け完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。
●製品が運転・停止するか。 ●異常な音・振動がないか。

4.使用方法

- 運転は壁などに据付けられているスイッチもしくは電源スイッチで運転開始と停止を行います。
- 本換気扇は24時間換気(排気用)専用ですので特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除き電源スイッチは「入」でご使用ください。

5.お手入れ

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください)をお願いします。

警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る感電けがの原因。

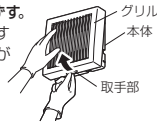
注意

お手入れの際は手袋を着用する着用しないとけがの原因。

- お願い ●洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。(異常音発生の原因。)

1. 清掃部品のはずしかた

- グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてははずす。
- 本体からグリルをははずす際、グリル正面を支えながらははずしてください。(落下によるけがの原因)



2. 清掃のしかた

1. グリルは中性洗剤を溶かしたため湯(40℃以下)に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたため湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

3. お手入れ後の清掃部品の据付け

1. 据付けは取りはずすと逆の順序で行う。
●グリルの取手部が本体「上」表示の反対側にくるように据付けてください。
2. 据付け後、次の確認をする。
(1) グリルが確実に据付けられていますか。グリルと据付面に隙間はありませんか。
(2) 運転音や回転動作に異常はありませんか。(必ず運転をして確認してください)

注意

お手入れの後の部品の据付けは確実に落下によりけがの原因。

6.修理を依頼される前に

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。
- 当社ホームページ「よくあるご質問FAQ」もご活用ください。
<http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270>
こんなとき 原因 点検・処置

スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか 羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	据付け直します 清掃します
羽根が逆回転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響によって発生する可能性があります	無風状態で確認します
こげ臭いにおいがする	故障です 運転停止してください	販売店または工事店へ連絡します
グリルと据付面に隙間がある	グリルの据付け向きが間違っていないですか	据付け直します

- モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなびんで音が変化することがありますが異常ではありません。

7.アフターサービス

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

- 修理料金は技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱パイプ用ファン
2. 形名 V-08PBLD7
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

ご使用を中止し、分電盤のブレーカーを切った後、お買上げの販売店にご連絡ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店が「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」(裏面)にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8.仕様

(電圧100V)

形名	消費電力 (W)	風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
V-08PBLD7	4.4	5.1	95	112	27	31.5	0.49

*特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】 ●経年劣化により発生の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられたものを本体に表示しています。		【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります 【設計上の標準使用期間】 15年 【設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。】	
【設計上の標準使用期間とは】 ●運転時間や過湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づき経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができると見込まれる期間です。 ●本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を初年とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。 ●本製品は取扱説明書の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。 ●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や設置に伴い生ずる劣化をいいます。	■標準使用条件 JIS C 9921-2		
	環境条件	電圧 単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
	湿度	20℃	
	湿度	65%	JIS C 9603から引用
	設置条件	標準設置	取付説明書による
	負荷条件	定格負荷	【B.仕様】による
	想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ¹⁾
		合計	2410時間/年
		平均	2193時間/年
		トイレ	2614時間/年
		浴室	1671時間/年
			注 ¹⁾ 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

愛情点検



☆長年ご使用の換気扇の点検を!

- ご使用の際このようなことはありませんか。
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ	形名	V-08PBLD7	お買上げ年月日	年 月 日
サービス依頼される時を便利にする	お買上げ店名(住所)(電話番号)			

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
■この製品は居室・トイレ・洗面所に据付けてください。
浴室など湿気の多い場所には使用しないでください。(故障の原因になります)
■直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
■雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
■接続パイプは市販品の塩化ビニル管(VU、VP(呼び径100mm))または鋼板管(内径100mm)のいずれかをご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

裏面の取扱説明書の「1.安全のために必ず守ること」をご確認ください。

2.各部のなまえと外形寸法図

- 各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「2.各部のなまえ」をご確認ください
●外形寸法図 ⇒梱包箱をご確認ください 【付属部品】木ネジ……2本

3.据付前のお願い

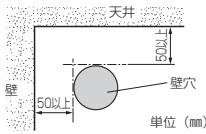
- 高温(40℃以上)になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
●塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
●燃焼機器の排気口の近くには据付けしないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風するときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
●システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
●天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
●アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
●効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
●市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定してください。(詳細は4.据付方法の電気工事をご覧ください)

4.据付方法

1 据付前の準備

壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

- 1. 据付場所を決めて壁穴をあける。
●右図の壁穴位置をご確認ください。
●接続パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)と厚肉(VP)管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
●必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

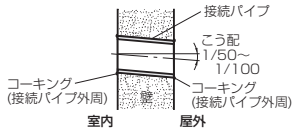


お願い

- 据付位置は上図の位置になるようにしてください。上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や製品に備え付けの電源スイッチが押せない場合があります。

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

- 接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
●電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
●固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
●室内へ水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。



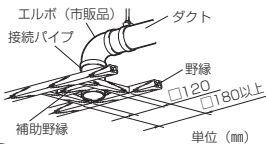
※接続パイプは壁面より室内側に外れないようにしてください。

お願い

- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

天井据付けの場合(野縁組立とダクト工事)

- 1. 下図のように野縁組立をし、ダクト工事をする。



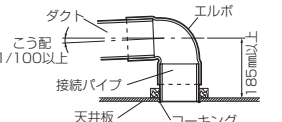
お願い

- 接続パイプが壁から上図の位置になるようダクト工事を行ってください。上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や製品に備え付けの電源スイッチが押せない場合があります。

- 2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。

- 3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。

- 4. 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。



※接続パイプは天井面より室内側に外れないようにしてください。

お願い

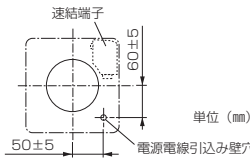
- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
●天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2 電気工事

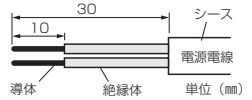
電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
■換気設備はホルムアルデヒド対策のため常時運転できるものとしなければなりません。このため、換気設備のスイッチは容易に停止されないものとするが望まれます。
(例) ●常時運転すべきことを指示する注意書きの貼付けのあるもの。
●切りボタン(OFFスイッチ)にカバーを設けた構造のもの。
●長押しでOFFとなる構造のもの。
●専用ブレーカーを設ける。

- 1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
●電源電線はVVF2芯φ1.6またはφ2.0をご使用ください。



- 2. 電源電線の先端を右図寸法に合わせて皮むきます。
●端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき方を必ず守ってください。



警告

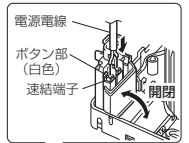
●交流100Vを使用する直流や交流200Vを使用すると感電の原因。

注意

●電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)及び「内線規程」に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
●電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

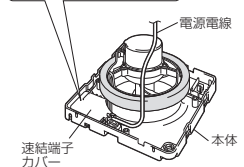
3 本体の据付け(壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

- 1. 本体からグリルをはずす。
2. 結線をする。(電気工事は電気工事士の方が実施してください)
①連結端子カバーを右図のように開ける。
②電源電線を連結端子に差し込む。
③確実に連結端子カバーを元通り閉じる。

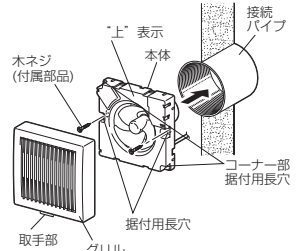


お願い

- 電源電線は確実に連結端子に差し込みます。連結端子より導体が出ないようにしてください。
●電源電線を軽く引いて連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
●電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
●電源電線を連結端子よりはみ出す場合は、ボタン部(白色)を押しながら電源電線を引き抜いてください。



- 3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
●本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
●左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部据付用長穴をご使用ください。
●石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。
4. グリルを本体に据付ける。
●グリルの取手部が本体「上」表示の反対側にくるよう据付けてください。

注意

お手入れの後の部品の据付けは確実に行う。落下によりけがの原因。

5.据付後の確認

本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

6.試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

- 製品が運転・停止するか。また、異常な音・振動などが無いかを確認する。

7.お客様への説明

裏面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様または発注者(オーナー、ゼネコン)や管理者へ説明してください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ
●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、各窓口へお問い合わせください。
■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様から提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。

三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル 0120-726-471 (無料)
携帯電話・PHS対応 0120-139-365 (無料)
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒520-8505 和歌山県中津川市南町1-1-1

三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル 0120-56-8634 (無料)
http://www.melco.co.jp
携帯電話・PHSの場合 TEL 0570-01-8634 (有料)
FAX 0570-03-8634 (有料)